

一般會計，特別會計

1 令和元年度当初予算の概要

(1) 基本的な考え方

創造的復興を力強く推し進め、
欲張りなライフスタイルの実現を目指します。

- ◆ 令和元年度は、「平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興プラン」に基づく、創造的復興による新たな広島県づくりを力強く推し進めるとともに、従来から取り組んできた、仕事も暮らしもあきらめずに追求できる「欲張りなライフスタイルの実現」に向けて、引き続き着実に取り組んでいく。
- ◆ 昨年7月に県内各地で発生した記録的な豪雨では、多くの人的被害、家屋やインフラ等の物的損害など、戦後最大級の被害がもたらされた。発災から10か月が経過したが、直接被害を受けた被災者や企業の皆様の回復はまだ道半ばであり、こうした方々の一日も早い生活再建や事業活動の再建に向けて、個々の状況やニーズに寄り添ったきめ細かい支援を行っていく。
- ◆ また、道路や鉄道など主要なインフラは順次回復し、県民生活や経済活動は徐々に通常に戻りつつあるが、被災した公共土木施設等の本格的な復旧に向けて、引き続き取組を進めていく。
さらに、全国で見ると、大規模災害が頻繁に発生し、常に、想定を超える事態が起こりうる可能性があることから、被害を最小限に抑えるため、ハード、ソフト両面からより実効性の高い防災・減災対策に取り組む必要がある。
- ◆ そのため、被災した公共土木施設等の復旧の早期完了を目指すとともに、再度災害防止の観点から、インフラの強靱化を進めていく。さらに、県内全域においても、今後の災害に備えるため、防災・減災対策を加速させ、将来にわたって、災害に強く、安全・安心に暮らせるまちづくりに取り組む。
- ◆ 加えて、災害が発生した際に、県民一人ひとりが、適切に避難行動をとり、命を守ることができるよう、自助、共助、公助の観点から、より効果の高い被害防止策の構築を図っていく。
- ◆ さらに、「希望をかなえるための後押し」や「ゆとりの創出」など、県民一人ひとりの欲張りライフの実現を応援するこれまでの取組によって現れてきた変化の兆しや成果をより確かなものとし、次のステージにつなげていくため、社会環境の変化や県民ニーズを踏まえつつ、「欲張りなライフスタイルの実現」に向けて、全力で取り組んでいく。

■会計別予算規模■

一般会計	1兆551億円	前年度比 +1,012億円	+10.6%
特別会計(11会計)	5,494億円	前年度比 ▲ 560億円	▲ 9.3%
公債管理特別会計	2,794億円	前年度比 ▲ 332億円	▲10.6%
企業会計(5会計)	735億円	前年度比 + 130億円	+21.5%
流域下水道事業会計	133億円	前年度比 + 133億円	皆増

※ 企業会計は、収益的支出及び資本的支出の合計である。

※ 流域下水道事業会計は、令和元年度から企業会計に移管した。

(2) 施策体系

◆ 創造的復興による新たな広島県づくり

安心を共に支え合う暮らしの創生

未来に挑戦する産業基盤の創生

将来に向けた強靱なインフラの創生

新たな防災対策を支える人の創生

◆ 欲張りなライフスタイルの実現

希望をかなえるための後押し

- すべての子供が夢を育むことのできる社会づくり
- 社会で活躍する人材の育成
- 結婚から子育て期の切れ目ない支援
- 女性の活躍促進
- 多様な人材の就業支援

地域活力の基盤づくり

- 中山間地域の地域力強化
- 都市圏の活力強化
- 東京圏等から広島への定住促進

ゆとりの創出

- 働き方改革
- 第4次産業革命を好機とした生産性革命
- 中小企業・小規模企業の持続的な成長への支援
- イノベーション・エコシステムの共通基盤の強化
- 多様な創業と新事業展開の促進
- 多様な投資誘致の促進
- 成長産業の育成・支援
- 世界と直結するビジネス支援
- 観光地ひろしまの推進
- 瀬戸内海の道構想の推進
- 担い手が生活設計を描ける農林水産業の確立
- 「健康寿命の延伸」に向けた取組の推進
- 持続可能な医療・介護提供体制の構築
- がん対策日本一に向けた取組の推進

暮らしを楽しむ機会の創出

- スポーツを核とした地域づくり
- 暮らしを楽しむ機会の創出

広島の価値の共鳴・共振

- 国際平和拠点ひろしまの形成
- 「ひろしま」ブランド価値向上の推進

(3)「創造的復興による新たな広島県づくり」に向けた取組のポイント

① 安心を共に支え合う暮らしの創生

被災された方々が一日でも早く、日常の生活を取り戻せるよう、一人ひとりに寄り添った包括的な支援を行う。

被災された方の生活再建にあたっては、地域におけるコミュニティが日常生活に欠かせない大切な要素となることから、地域住民と行政、専門機関等が一体となって、被災者ニーズを把握し、見守り、「地域共生社会」につなげる新たな仕組みづくりに取り組む。

また、災害廃棄物については、県民の衛生環境や安全の確保のため、迅速かつ適正に処理できるよう市町への支援を行う。

② 未来に挑戦する産業基盤の創生

本県の経済活動を被災前の状態に再生させ、更なる発展につなげていくため、被災企業の事業活動の再建に向けた支援や観光需要の回復などに集中的に取り組む。

また、県内企業の被災状況等を検証し、今後起こり得る非常時においても、企業活動を継続できる体制の整備を進める。

農林水産業においては、生産活動の早期再開に向けて、被災した農地・農業用施設等の復旧に全力で取り組む。

③ 将来に向けた強靱なインフラの創生

「平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興プラン」に掲げる災害復旧事業や改良復旧事業などに着実に取り組み、再度災害防止に努めるとともに、公共土木施設等の強靱化を推進する。また、「社会資本未来プラン」に掲げる、防災・減災対策の推進にあたっては、国の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」により、事業効果の早期発現に向けて対策の加速化を図り、県土の強靱化に取り組む。

ため池については、利用状況や健全度等に応じて、統合や廃止も含め検討するなど、総合的な対策を進める。

また、医療施設等において必要となる機能やリスク等を検証し、災害時に備える総合的な対策を講じる。

さらに、災害による交通遮断等、県民生活への影響を最小化するため、公共交通における災害対応体制を構築する。

④ 新たな防災対策を支える人の創生

実際の災害時において、県民一人ひとりが適切に判断し、避難行動をとるために必要となる要素などについて、防災や行動科学の有識者を交えた詳細な研究を行い、「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の取組を強化していく。

また、各地域における防災活動をリードする自主防災組織やその中心となる人材の育成を図っていく。

さらに、児童生徒一人ひとりが災害から命を守る判断・行動を適切にとることができるよう、学校における防災教育の充実に取り組む。

(4)「欲張りなライフスタイルの実現」に向けた取組のポイント

① 希望をかなえるための後押し

人口減少、少子高齢化の時代にあつて、広島県に多くの人が集まり、県民みんなで子供たちを育み、全ての県民が生き生きと活躍できる「欲張りなライフスタイル」を実践できるように、県民一人ひとりが、学校や仕事、家庭など様々な場面で夢や希望をかなえられるように後押ししていく。

成育環境の違いにかかわらず、全ての子供が健やかに夢を育むことのできる社会づくりに取り組むとともに、様々な変化に対応し、社会で活躍できる人材を育成するため、幼児期から社会人まで一貫した取組を行う。また、結婚から子育て期までの切れ目のない支援や、女性が活躍できる環境づくり、働きたいと思う人がその意欲と能力に応じて安心して働くための就業支援に取り組む。

② ゆとりの創出

県民のみなさんの様々な「欲張りなライフスタイル」を実現するには、その基となる「時間的ゆとり」「経済的ゆとり」「心身ともに健康であること」が重要であることから、これらの「ゆとり」を創り出すための取組を推進する。

時間的ゆとりの創出のため、個人の状況やライフスタイルに応じた多様な働き方ができるよう、働き方改革を推進する。

経済的ゆとりの創出のため、第4次産業革命への対応を進めるとともに、持続的なイノベーションを創り出していくための基盤強化や、地域経済を支える中小企業・小規模企業の持続的成長に向け、「広島県中小企業・小規模企業振興条例」を踏まえた総合的な支援を行っていく。また、ものづくり産業の集積や多様な農林水産資源、豊富な観光資源などを生かして、産業振興や雇用創出などに取り組む。

健やかで心豊かに生き生きと暮らし続けるため、健康の保持・増進と介護予防に向けた県民の行動変容を促す環境を整備し、健康寿命の延伸を図っていく。

③ 地域活力の基盤づくり

県民のみなさんが「欲張りなライフスタイル」を実現するためには、それぞれの住んでいる地域に活力があり、人々が生き生きと暮らせる環境をつくり出す必要がある。そのため、都市と自然が近接している本県の特徴を生かしながら、中山間地域の地域力強化や都市圏の活力強化に取り組むとともに、高まりつつある地方移住の機運を取り込んで移住・定住の促進などに取り組む。

④ 暮らしを楽しむ機会の創出

県民のみなさんの暮らしを楽しむ機会をより多く創り出すため、アウトドアを楽しめる自然環境、豊かな食、県立美術館や広島交響楽団、スポーツ競技団体などの文化施設、団体、豊富な観光資源などを有効に活用しながら、誰もが気軽に楽しむことができるコンテンツの充実や質の向上、仕組みづくりを進める。

⑤ 広島の価値の共鳴・共振

核兵器のない平和な世界の実現に向けた取組を進め、ひろしまブランドコンセプトの一つである「平和への希望が集う場所」としての価値を更に高めていく。

その他の3つのコンセプトや、広島の地域資産であるスポーツ、文化などとの相乗効果とも併せて、広島の価値に対する県民の共感の獲得（＝共鳴）と、広島の国内外での認知・評価の向上（＝共振）につなげる。

(5) 国の補正予算を活用した平成30年度2月補正予算との一体的な編成

国の補正予算を活用した平成30年度2月補正予算と一体的に予算編成し、創造的復興を力強く推し進め、欲張りなライフスタイルの実現に取り組む。

【予算規模等 [一般会計ベース]】

令和元年度当初予算

1兆551億円 対前年度比+1,012億円



国の補正予算を活用した平成30年度2月補正予算74億円と一体で編成

令和元年度当初予算+平成30年度2月補正予算(国の補正予算活用分)

1兆625億円 対前年度比+1,087億円

【重点施策への集中的な取組】

ア 創造的復興による新たな広島県づくり 1,082億円

創造的復興による新たな広島県づくり 4つの柱	事業費	R元年度当初予算	
		R元年度当初予算	H30年度2月補正予算
安心を共に支え合う暮らしの創生	22億円	22億円	—
未来に挑戦する産業基盤の創生	162億円	162億円	—
将来に向けた強靱なインフラの創生	882億円	824億円	58億円
7月豪雨災害対応(被災地域等)	572億円	555億円	17億円
防災・減災対策	310億円	269億円	41億円
新たな防災対策を支える人の創生	1億円	1億円	—
その他(応急対策等)	15億円	15億円	—
計	1,082億円	1,024億円	58億円

イ 欲張りなライフスタイルの実現(主要事業) 303億円

施策体系	事業費	R元年度当初予算	
		R元年度当初予算	H30年度2月補正予算
希望をかなえるための後押し	142億円	142億円	—
ゆとりの創出	147億円	146億円	1億円
地域活力の基盤づくり	6億円	6億円	—
暮らしを楽しむ機会の創出	4億円	4億円	—
広島の価値の共鳴・共振	5億円	5億円	—
計	303億円	302億円	1億円
対前年度	—	+84億円	—

※ 端数処理の関係で積上げ数値と合計値等が異なる場合がある。